

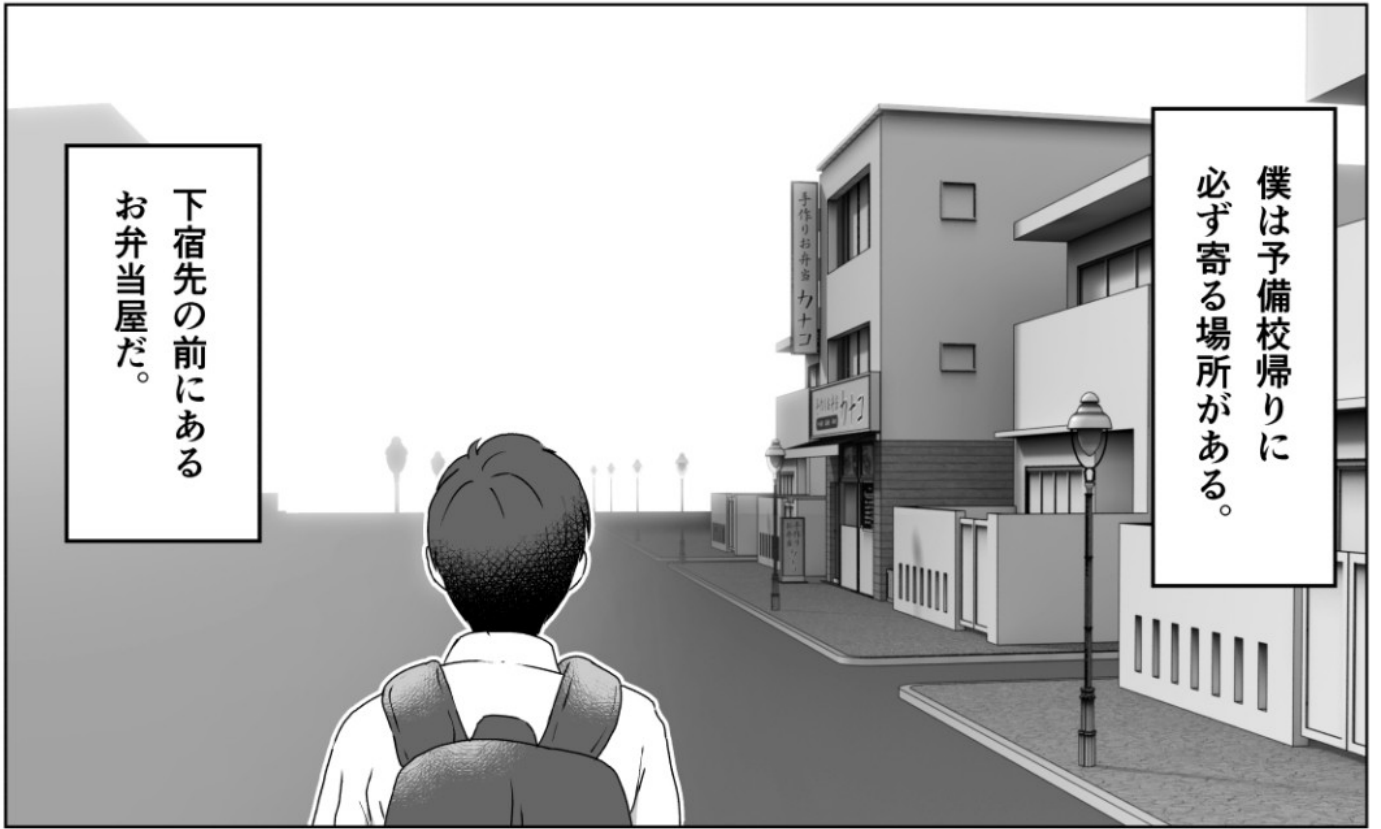
僕は殺されるのかもしれない。

寝取つて

しまった話。

元ヤンの夫を持つ、
弁当屋のオバサンを





お弁当屋の
かなこさんだ。

マモル君
今帰り？

お帰りなさい。

ただいま…です。

あ…。

キョド…



はあーい。
まいど！

…と、キムチ。

本日の
カ、カナコ弁当。

勉強真面目に
頑張ってるわねえ。
えらいえらい。
今日は？



これが見れるのだ。



マメル君、
キムチ好きねえ。

別に、好物な訳じゃない。



奥の棚にある
キムチを頼むと…。



ウチの手に手を出そうと
してんじゃねえだろうなあ…。

うわああああああつ！

小僧…、
何見てんだあ？



ち、ちよつと
あんた！

殺すぞテメエ！



だ、大丈夫です。
ちよつと驚いただけなので。

トキ
トキ
ドキ

ごめんねえ。
後でキツク
叱っておくから。



働きもしないで
何やってんだい！
小遣いやんないよ！

このバカッ！
お客さんだよ。

がるこめ…
パチンコ負けて
イライラしてたんだよお…。

ありがとうございますー！

恐えー！
かなこさん、なんであんなヤツと
結婚したんだろう。



かなこさん大変ねえ。

旦那さん元ヤンで
全然働いてないんだって。

ええっ？

お金心配じゃあないの？
私なら別れるわあ。

そうだ、そうだ！



それがね、ここだけの話よ？

うちの旦那が隣の夜のお店で
似た人を見たんだって。

ええ？

たしかにキレイだけど。
もう42歳でしょ？
まさかねえ…。

え？

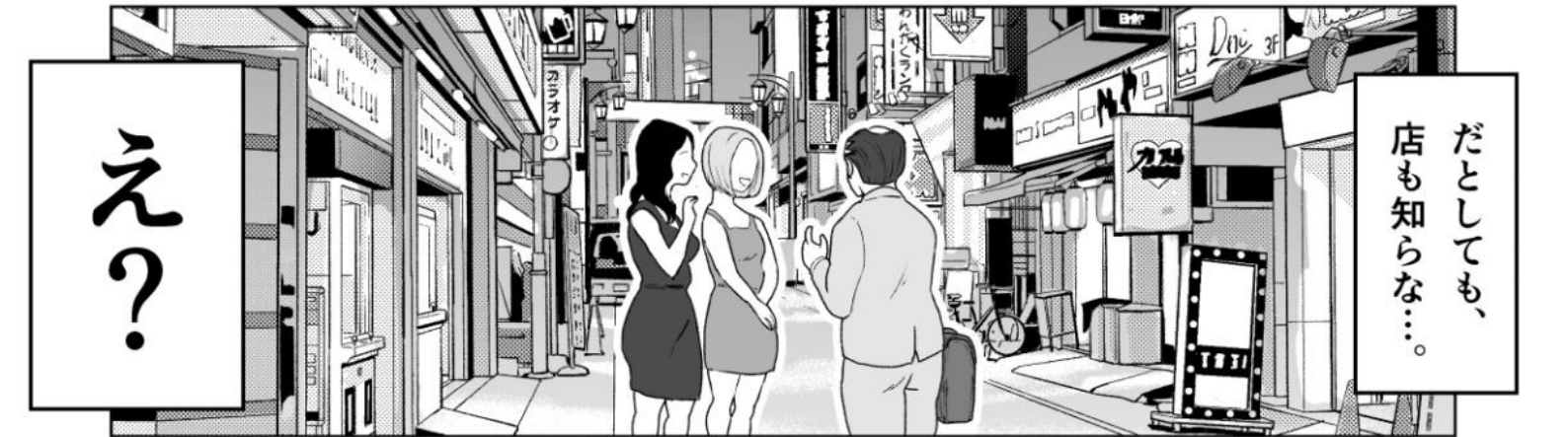
夜の…？





気になって
来てしまった…。

本当なのかも
わからないのに…。



だとしても、
店も知らな…。

え？



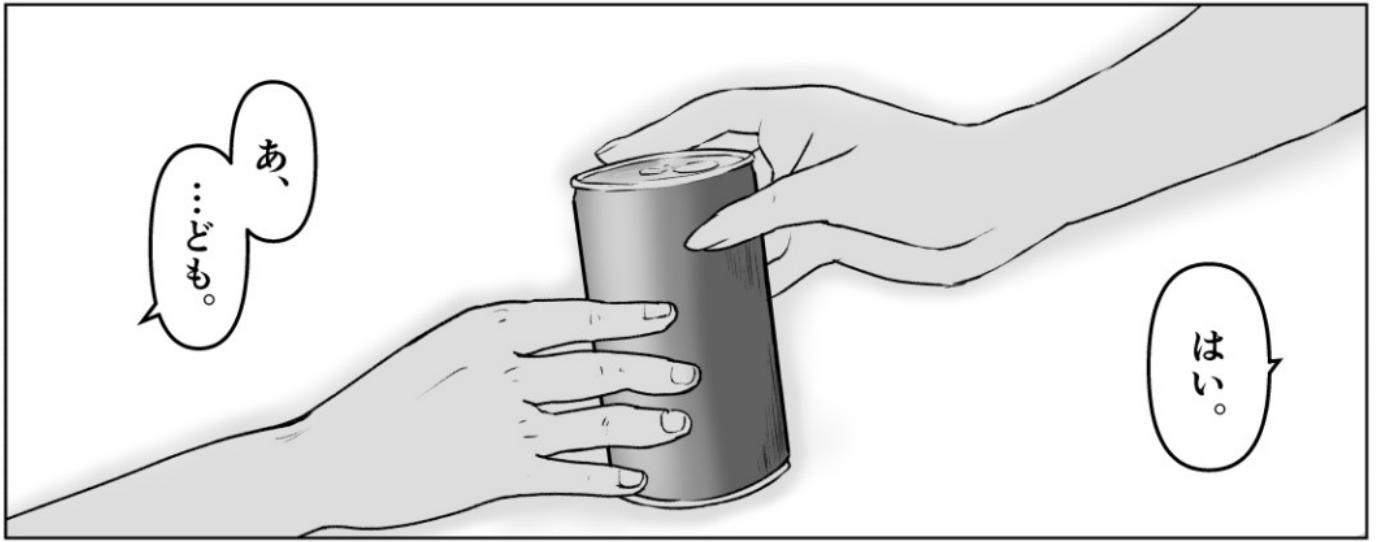
ヤベっ！

…見つかった。

ウソでしょ！
かなこさん…。



い、いたッ



あ、
……ども。

はい。



若い頃ね。

あなたみたいなお真面目な人が
好いてくれた事があったの。

でも、

今の旦那を選んだ。

やんちゃな男が
魅力的に見えた。

…若かったのね。



もしあの時。

あの人を選んでいたら…。



何もわかって
いなかったわ。



…なんてね。

だったら良かったのにな。



真面目で
優しい子ができたのかしら。

私にも、
あなたみたいなの。



心配して来てくれて
ありがとう。
…嬉しかったわ。

ここで働いてることは
2人の秘密ね。

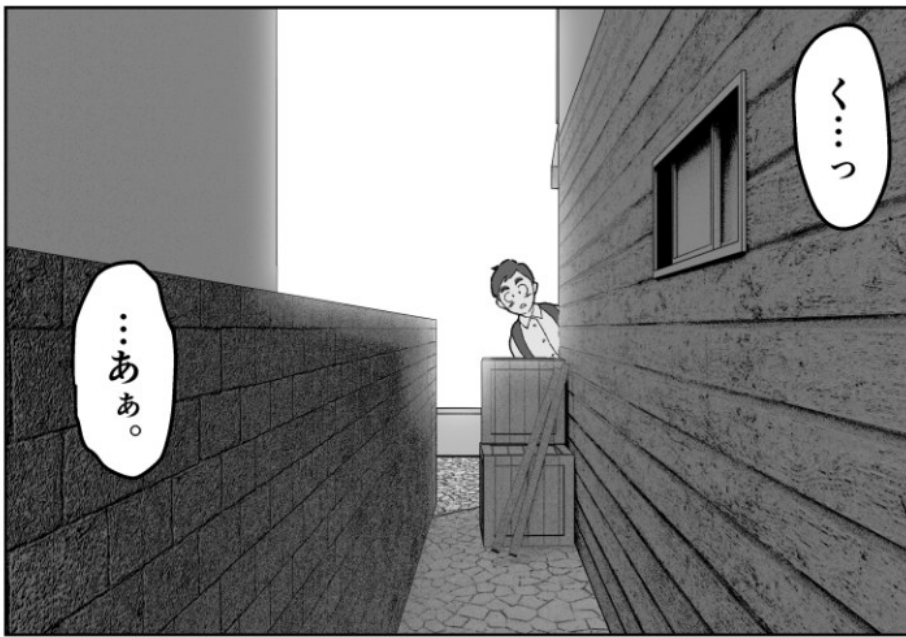
あー。
私酔っ払ってるわー。
ごめんね、引き留めて。



どこかですげべな事を
期待して来た、
自分が恥ずかしかった。

その無邪気な笑顔から、
自分への信頼を感じて…。

過去を打ち明けてくれた
かなこさん。





ちっ、うるせえな。

俺が一旦こうなったら
収まんねえの知ってんだろ。

ちよっイヤッ
やめて！



いたッ
いい加減にして！

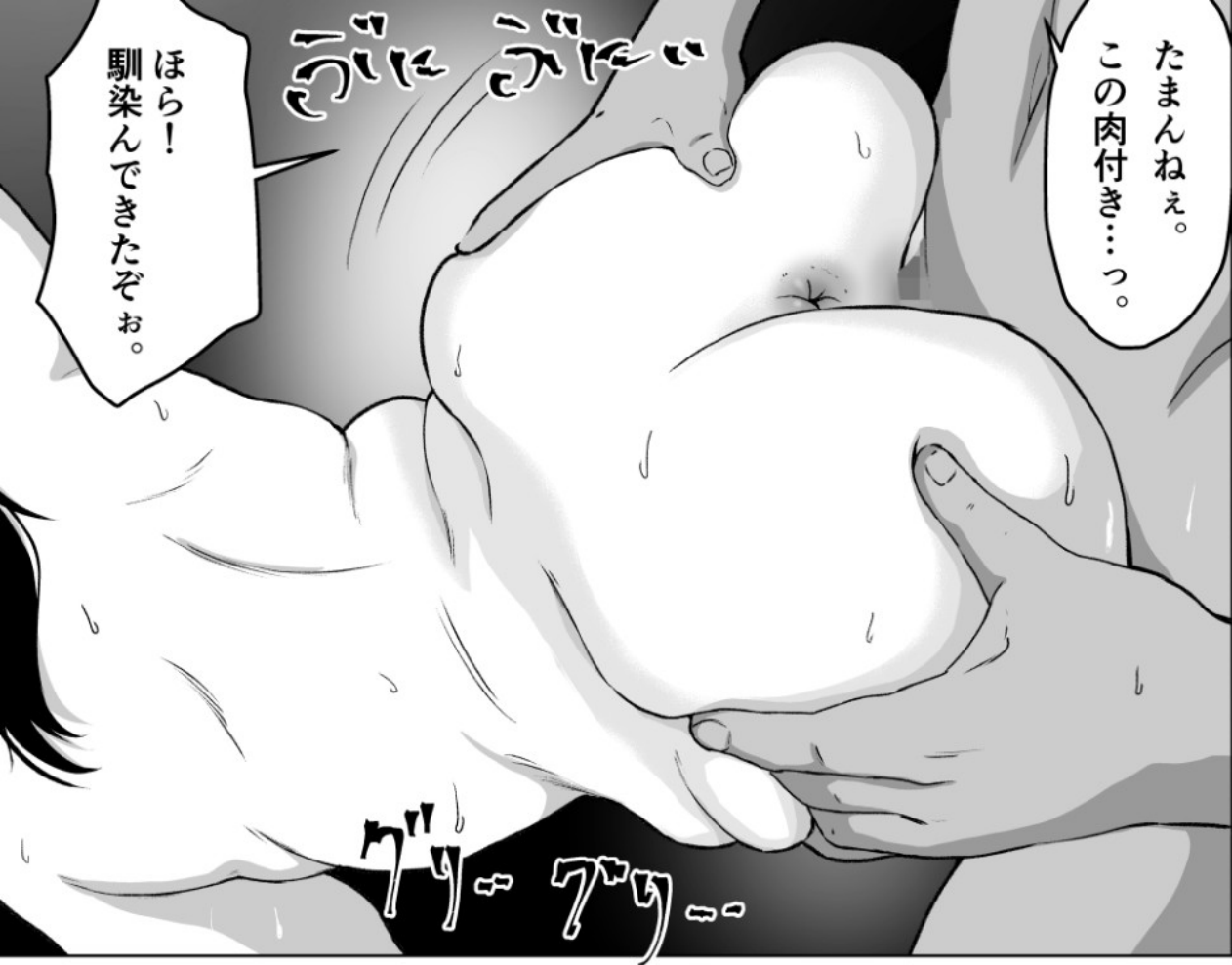


ああッ！



やめろ…っ
嫌がってるじゃないかッ！



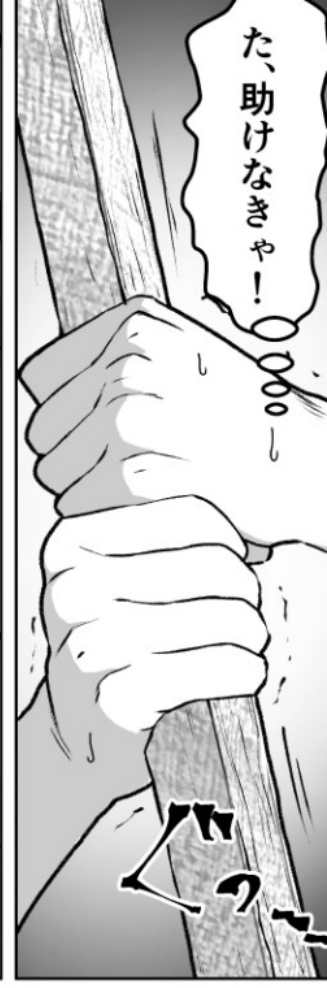


ほら！
馴染んできたぞお。

ゴロゴロ

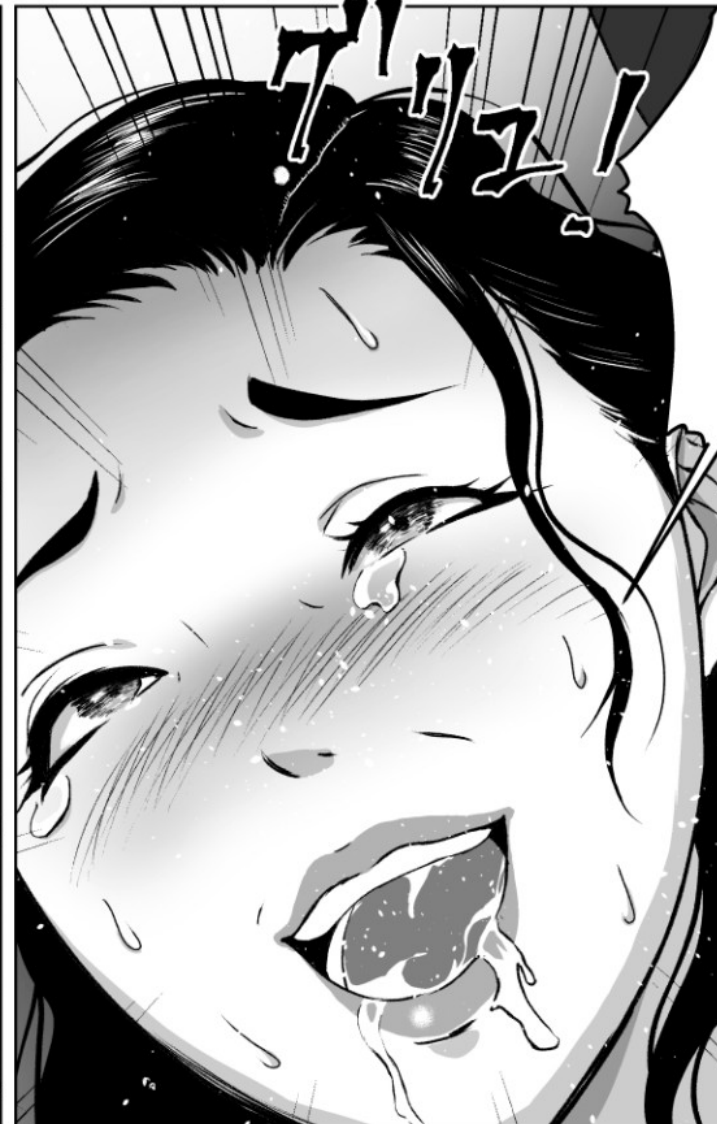
たまんねえ。
この肉付き…っ。

ガッガッ



た、助けなきや！

ハッ
クッ



イイツ！

ガッガッ
ユッ



んあ…、奥…。

奥に…んんッ！

ガッ
クッ

ガッ
クッ



だからもっと突いて、
奥ッ、おくう！

おしゃあ
おしゃあ



わかってんだよ。
本当は無理やりが良いの。

ん…そうよッ
好きいい！

ドク
ドク

ドク
ドク

ドク
ドク

ドク
ドク



上品ぶりやがって！
変態のくせに！

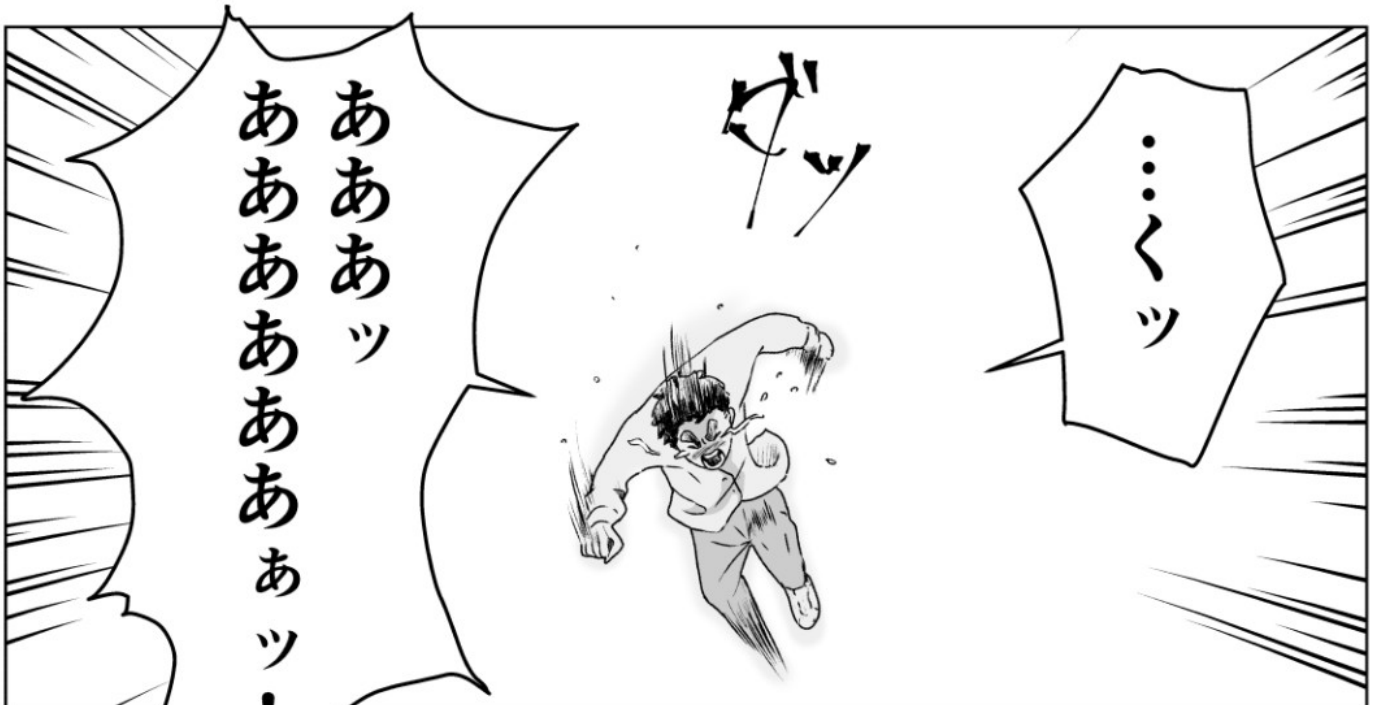
おしゃあ
おしゃあ
おしゃあ

おしゃあ
おしゃあ
おしゃあ

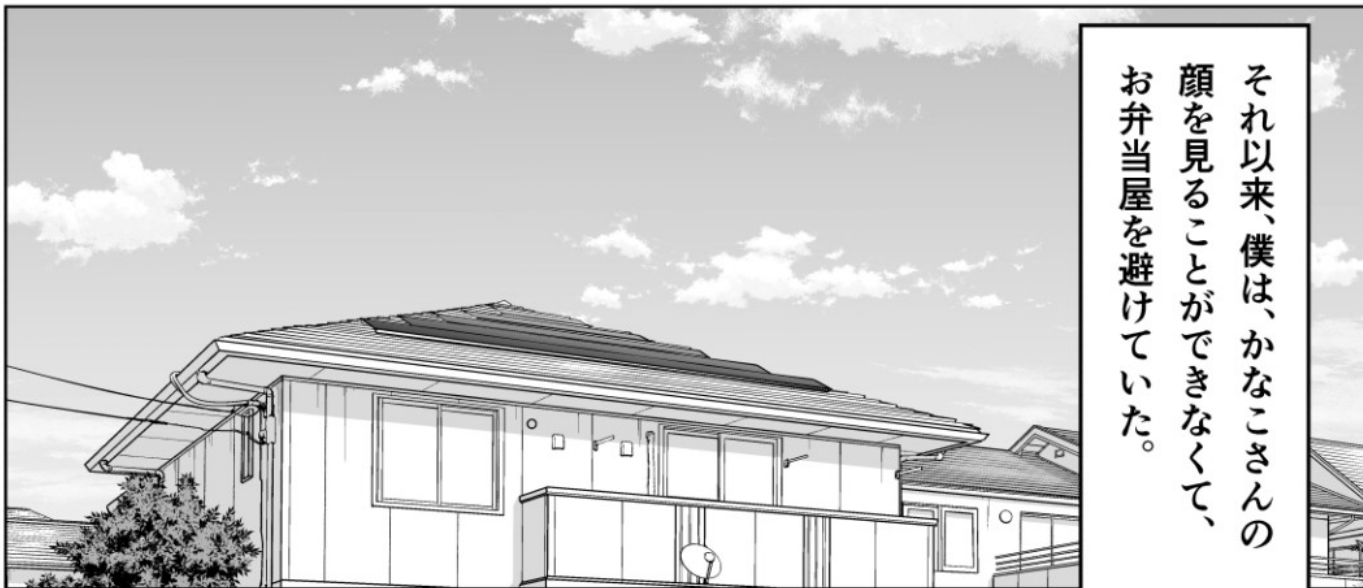
んいいッ！
ごめんなさい。



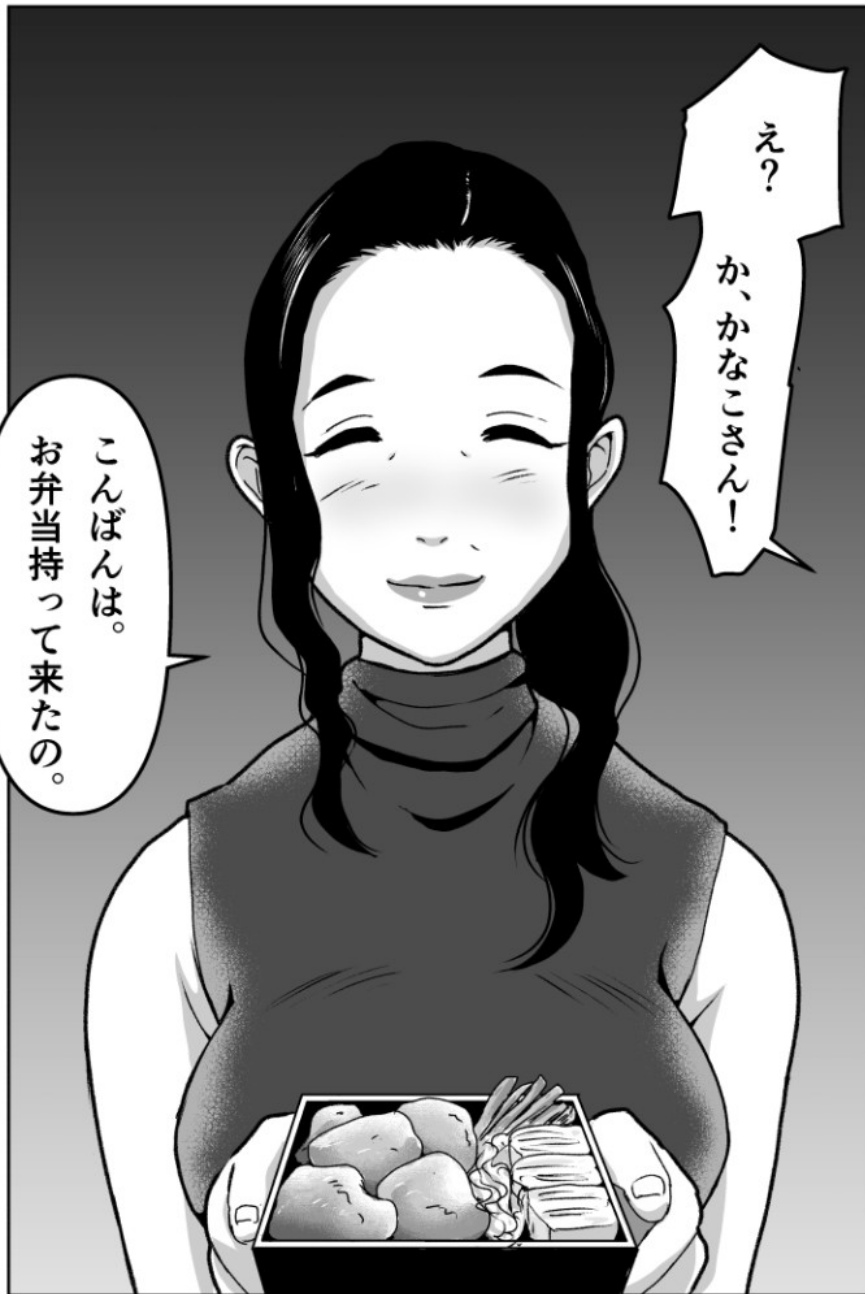




それ以来、僕は、かなこさんの
顔を見ることができなくて、
お弁当屋を避けていた。







え？

か、かなこさん！

こんばんは。
お弁当持ってきたの。



その夜。

はい。

おや



最近買いに来ないし、
具合でも悪いんじゃないかって

そ、そんなんじゃ…。

ちがうの？

仲良くなれたと思ってたのに、

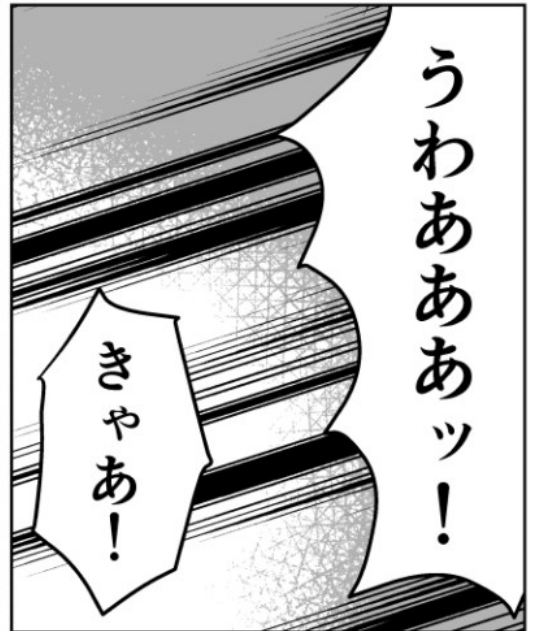
なんだか急に

よそよそしいんだもの。

気になるじゃない。

……。









あうっ…。



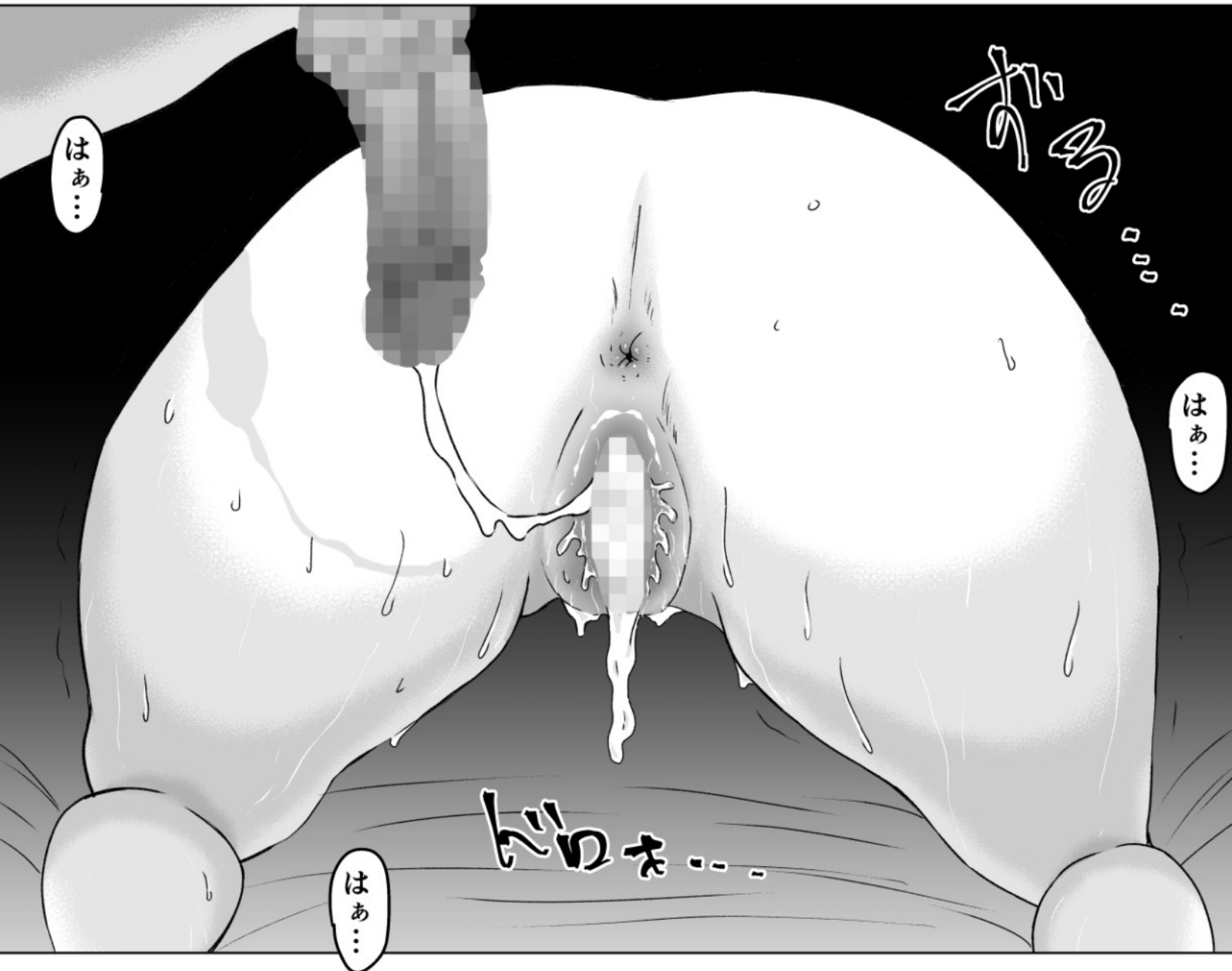
なんでッ

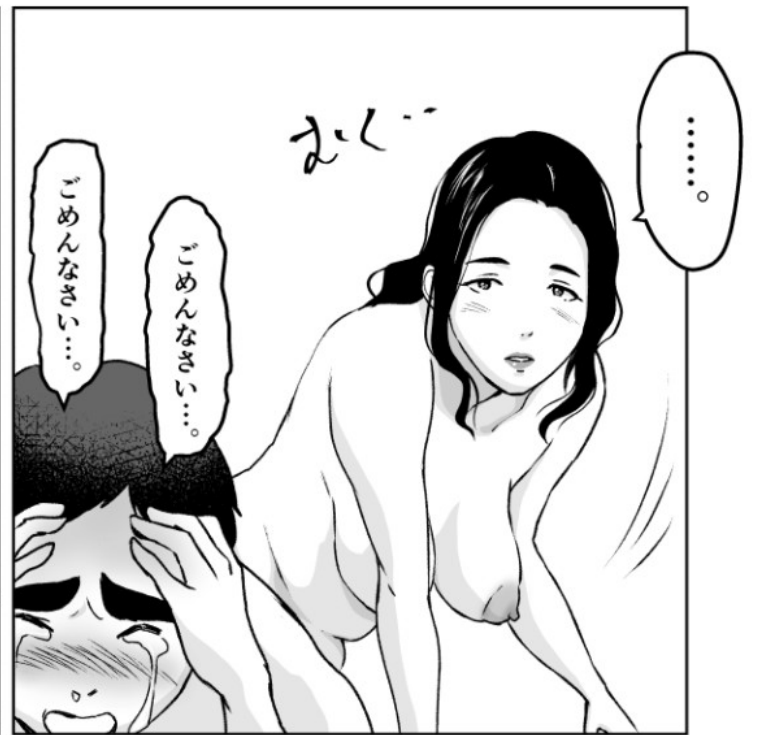
なんであんな奴ッ！



後悔してるって
言ってたくせに！

あがッ













んー…、
苦いわあ



はあ…

かなこさ…



2回目なのに…、
こんなに濃い精子が…

うぶ…うぶ…
…すいこ。

せわあ…

んーんー…



もしもし？



え？
やだ！夫だわ。

アアアアア

アアアアア



ツあああああッ
んんああああッ!



…もう少し、
かかるから、うん…
先食べてて。
…うん…ッ、じゃあ…ね。



くッ!
ゼンゼン…
…うん、大丈夫。

セーラー



あ...ああ...

はあ

はあ

はあ



はあ...。

...んもう。
仕方のない子...

...すみません。



はあ

はあ

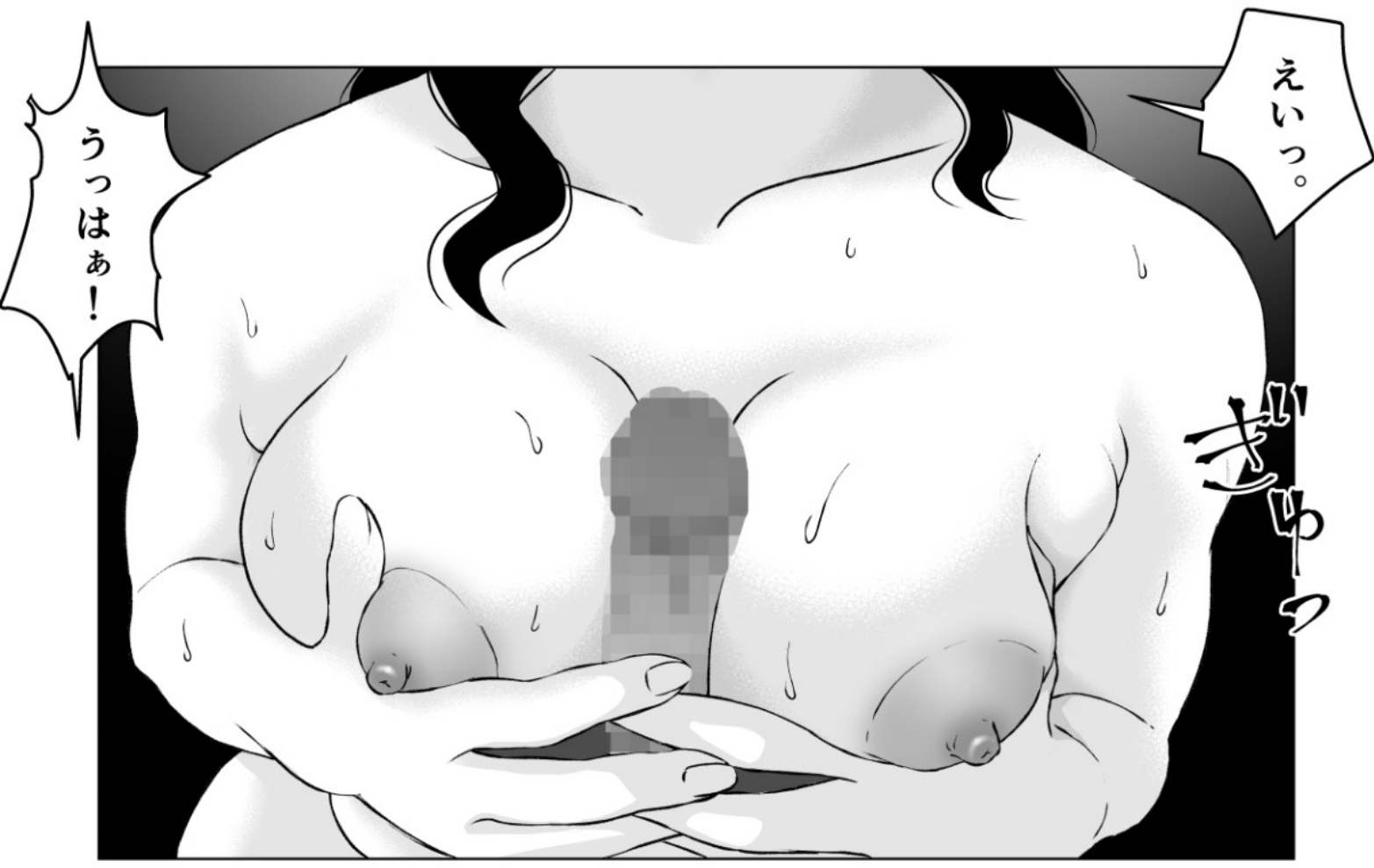
...

...かなごさん、
好きで...す。

はあ

ゆるさない！
仕返しよッ！

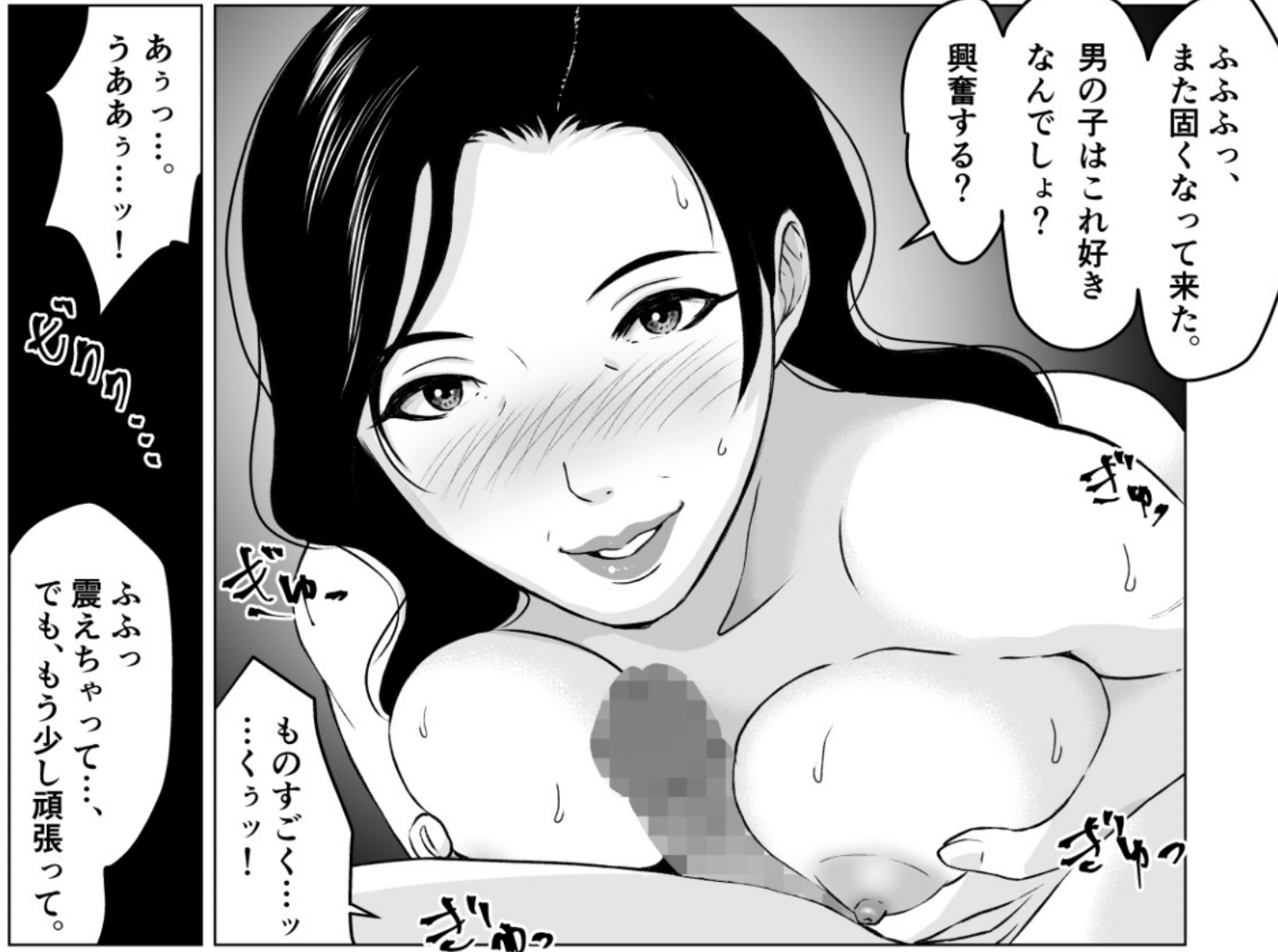
うわっ



ぎゅっ

えいつ。

うっはあー!



ふふふっ、
また固くなって来た。
男の子はこれ好き
なんでしょ？
興奮する？

ものすごく…ッ
…くうッ!

ふふっ
震えちゃって…、
でも、もう少し頑張る。

ふんっ

あうっ…。
うああう…ッ!





奥、奥、奥を突くの!

お、お尻ッ
お尻掴んでッ

ふりゃ

ふりゃん

ふりゃん



お……く……ッ
……イクッ
……いくうううッ!

ンアああああッ!
……イイ! ……イイのお!

グッ

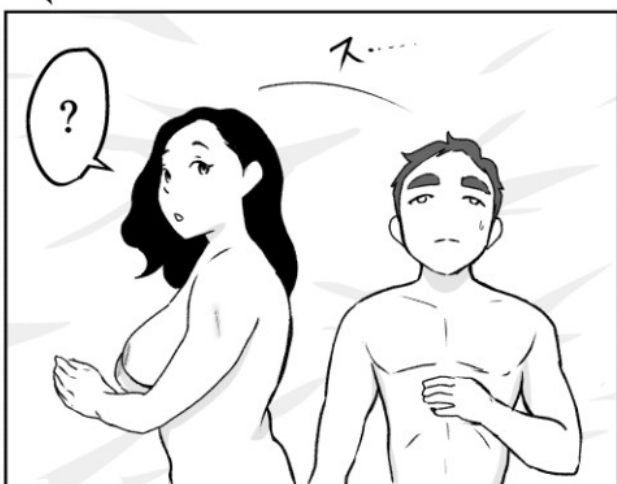
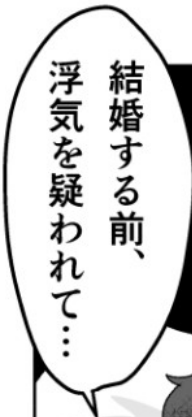
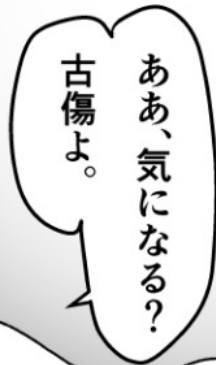
グッ

僕もッ
……限……界……ッ……!

グッ

グッ

グッ!





1年後



はあ

はあ

胸が大分張ってきたわ…

妊娠してあの人も働く様になったし。



マモル君は心配しないで将来のために、しっかりお勉強頑張ってるね。



…かなこさんに色々と弱みがある僕は、彼女の言うに任せている。



でも、もし旦那さんに、お腹の子が自分の子じゃないとわかってしまったら…。

…僕は、殺されるのかもしれない。